禁中殿門

有職抄

一之巻欠

二

稱意館藏本

ワ 3
6330
1

第一　禁中殿門之篇
第二　禁中官物之篇
第三　諸家之家業之篇
第四　装束之篇上
第五　同　下
第六　齊服　禮服　車　鞍具足

去水五味均平藏

73 6330 1

朝賀即位ハ古ハ大極殿ニテ行ハル公事根元曰旬一日夏冬ノ季ノあしたすゝけしめて
臣下に酒をたまはる政をきこしめす義也旬ハ昔ハ内裏にてはしめられ
て後ハ南殿にて行はるゝ孟夏ハ新樹の旬と申侍けるとかや
めし政の…孟冬ハ万機の旬と申十一月一日冬至にあたるをハ行ハるゝを
朔旦の旬と申也
公事根元曰二月八日ニ大般若経を百人の僧にて講せらる四ヶ日まで其ノ二日ニ行
慈恩…文武天皇元年四月八日にはしめらる貞観の頃よりハ毎年
行ハれ…かとかや仁王会…とて行るゝ或ハ三月大極殿紫宸殿清涼殿
なとにて行はるゝ也仁王護国般若経を講せらる…天皇…五月に仁王会始
り斉明天皇六年五月に宮中に於て百高座をもうけて行はれき

[seal]

有職抄巻之第二

禁中殿門之篇

大内裏

紫宸殿

南殿トイフ七間四面朝賀即位節會旬（四月孟夏旬 十月孟冬旬）朔旦（朔カ）已下之諸ノ公事并二季（二月八日）御讀経仁王會ナト行ハルヽ也

仁壽殿

（公事根元曰内宴ト申ハウチゝノ節會也仁壽殿ニテ行ハルゝ）

七門四面南殿ノ北ニアリ内宴（正月廿一日）相撲蹴鞠観音供ナト此殿ニテ有歟否常寧以下ノ諸殿モ政ノ時ハ御装束（正月十八日）シカサリテソレゝゝノ事ヲ行フナリ

七間四面仁壽殿ノ北ニアリ

兼香殿

常寧殿

后町トイフ七間四面兼香殿ノ北ニアリ

貞観殿

御匣殿トイフ七間四面常寧殿ノ北ニアリ

已上五殿ハ南ヨリ起テ北ニ行皆卯酉ニ是ヲ建ル

春興殿

七間四面日華門ノ南ニアリ

宜陽殿

七間二面日華門ノ北ニアリ着陣諸ノ平座ナト此ニテ行フ之

綾綺殿

七間四面宜陽殿ノ北ニアリ

温明殿

別殿トイフ七間四面綾綺殿ノ東ニアリ内侍所此所ニマシマス也

麗景殿

七間宜耀殿ノ南ニアリ

宜耀殿

七間麗景殿ノ北ニアリ

已上六殿ハ東南ヨリ起テ北ニ行皆子午ニ是建ル也

安福殿

七間二面月華門ノ南ニアリ

校書殿

七間二面月華門ノ北ニアリ

清涼殿

七間四面中殿トイフ校書殿ノ北ニアリ四方拜小朝拜叙位除目官奏三席（詩歌管絃）ノ御遊以下ノ公事アマタ此殿ニテ行ハルヽナリ

後涼殿

七間別殿トイフナリ清涼殿ノ西ニアリ又コウラウ

弘徽殿

七間清涼殿ノ艮ニアリ蹴鞠ノ例アリ

登華殿

七間弘徽殿ノ北ニアリ

已上六殿ハ西南ヨリ起テ北ニ行皆子午ニ是ヲ建ル也常寧殿貞観殿後涼殿弘徽殿ナト東宮后宮マシマスナリ時ニヨリテカハルヘシ

五舎

昭陽舎

五間四面梨壺トイフナリ麗景殿ノ東ニアタリテ北南ニ相ナラヒ二字アリ

淑景舎

五間四面桐壷トイフナリ昭陽舎ノ北ニアタリ北南ニ相ナラヒニ宇アリ

已上東ノ舎南ヨリ起テ北ニ行各二宇ナツヽアリ是ヲ諸舎ト云也

飛香殿 舎カ

五間四面藤壷トイフナリ弘徽殿ノ西ニアリ藤ノ花ノ宴此処ニテノ事也

凝華舎

五間四面梅壷トイフナリ飛香舎ノ北ニアリ

襲芳舎

五間四面雷鳴ノ壷トイフナリ凝華舎ノ北ニアリ

已上西ノ舎南ヨリ起テ北ニ行各一宇ツヽナリ飛香凝華ノ両弘仁九年ノ勘文ニ見エス後代ニ建ル歟其ハ年月古来イマタ詳ナラス此五舎ノ内ヲ摂関ノ直廬ニ玉ル摂政ノ時ハ叙位除目以下ノ公事直廬ニテ行フ事也又后宮モ飛香舎ナトニスミ玉フナリ

所々

内侍所 賢所ト云

温明殿ニアリ主殿掃部女官是ニ候ス

進物所 拾芥抄曰以公卿近衛次将為別當以奉膳為預

月華門外南腋ニアリ節會等ノ御膳ノ備進スル処也

御厨子 拾芥抄曰四位殿上人為別當以民部大輔以五位為預也

後涼殿ノ西ノ庇ニアリ内膳内蔵造酒大膳ヨリヒ諸御厨衛府

御贄ヲ以テ朝餉ナラヒニ朝夕ノ御膳ニ供ス

作物所

進物所ノ西ニアリ

内御書所

承香殿ノ東ノ片庇ニアリ延長御宇ヨリ初テ別當開闔衆

ナトアリ

校書所

校書殿坤ニアリ

蔵人所 弘仁元年三月十日初置蔵人所人ノ文書ヲ蔵ル所ナリ

校書殿ニアリ左大臣ヲ別當ニ補ス頭蔵人衆雑色出納ニ

舎人等アリ

瀧口

御所ノ近邊ニアリ清涼殿ノ艮ニアタル寛平ノ御時衆ヲ置

ル十人廿人時ニヨリテ其數サタマラサルナリ

薬殿

安福殿ノ内ニアリ侍醫藥生等是ニ候

納殿

宜陽殿ニアリ累代ノ御物コレニ納ム延喜ノ御記ニモ書法ニ百巻ナラヒニ楽器ナト納ラルヽ由ミエタリ

御櫛笥殿

貞観殿ノ内ニアリ上﨟ノ女房ヲ以別當トス女蔵人アリ

一ノ大臣ノ宿所

宜陽殿ノ東ノ廂ニアリ大臣大納言ナトノ宿処ノ廬職ノ曹司ナリ

左大将ノ宿所

宜陽殿ノ内ノ廊ノ南ニアリ

右大将ノ宿所

陽明門ノ内ノ東ノ廊ニアリ

左右中将ノ宿所

玄輝門ノ内ノ東西ニアリ

左右将監ノ宿所

同宿所ノ艮ニアリ

兵衛督宿所

本陣（兵衛陣）ニアリ　左ハ宜陽門右ハ陰明門拾丨

同佐ノ宿所

玄輝門ノ内ノ左右ニアリ

頭ノ宿所

宿所ノ舎ノ北ノ端ニアリ二人アル時一人ハ作物所ノ北ニアリ右兵衛ノ陣ノ北ヲ以宿所トス五位蔵人同舎ノ南西六位西面ニアリ

内豎内ノ候所

春興殿ノ東ニアリ

修理内ノ候所

西南ノ外ヲ廊ノ隅ニアリ

守油女官

貞観殿ノ東ノ廂ニアリ

主殿掃部内候所

西南ノ廊内ニアリ

造酒主水

安福殿ノ西ノ庇ニアリ

雷鳴陣

大聲三ドニ及フトキ仰ナシトイヘトモ大将以下弓箭ヲ帯シテ御前ニ祗候ス兵衛ノ陣ハ紫宸殿ノ前内舎人ハ清涼殿ノ廂ニタツ行成記ニ云后宮別殿ノ時ハ近衛ノ陣ヲ分カナ是ヲツカハスト云々

近衛ノ陣

左近ハ南殿ノ東日華門ノ内ニアリ右近ハ月華門ノ内ニ有

内記所

左兵衛ノ陣ノ内南ノカタニアリ

御輿宿

宜陽門ノ内南ノカタニアリ

内諸門

日華門

春興宜陽両殿ノ間ニアリ南殿ノ前ノ大庭ノ東向ノ門ナリ

左近衛ノ陣ト号ス（左仗座ト云）

月華門

安福校書両殿ノ間ニ在同庭ノ西向ノ門也右近衛ノ陣ト号（右仗座ト云）

左掖門

春興殿ノ南ニアリ壁垣ノ門ナリ東面

右掖門

安福殿ノ南ニアリ壁垣ノ門ナリ西面

内衛門

陣座ノ上ニアリ東面

恭礼門

内衛門ノ北ニアリ東面此門弘仁ノ定文ニ見エス

崇明門

陣座南面

宣明門

宜陽殿ニアリ西面宣仁鳥羽院ノ御諱ニヨリテ額ヲ放サ
ルヽト云ヽ

敷政門

宜陽殿ニアリ東面

明義門

南殿ノ西ニアリ西面

仙華門

南殿ノ乾明義門ノ北ニアリ

神仙門

殿上ノ南左青鎖門ノ内ニアリ西面

左青鎖門

東ノ方ニアリ西面

右青鎖門

西ノ方ニアリ東面

化徳門

綾綺殿ノ北ニアリ又無名門トイフ

已上内ノ閤門ハ近衛是ヲ守ル将曹一人近衛八人ヲ
引テ開閉シツトム五人ハ閤門ヲ開ク三人ハ掖門ヲヒ

ラク凡諸門トハ内中外ノ三重ノ門ヲイフナリ内中ノ門ヲ閤門トイヒ外ノ十二門ヲ宮門トイフ内ノ門ハ左右近衛是ヲ守リ中ノ門ハ左右兵衛是ヲ守ル外ノ宮門ハ左右衛門ノ守ル処ナリ

承明門

五間戸三間是ヲ宮ノ南面ノ内門トイフ建礼門ノ内也

長楽門

左ノ廂門トイフ承明門ノ東ニアリ

永安門

右ノ廂門トイフ承明門ノ西ニアリ射礼例アリ

已上三ノ門ハ南方ノ門ナリ

玄輝門

三間是ヲ宮ノ北面辟仗ノ内門トイフ朔平門ノ内也二宮ノ大饗此門ノ東ノ廊ニテ行フナリ一説枇杷ノ陣此門ニアリ寛元二年ノ或記ニハ左兵衛ノ陣ノ由ミエタリ

安嘉門

東ノ廂門トイフ玄輝門ノ東ノ方ニアリ

徽安門

西ノ廂門トイフ玄輝門ノ西ニアリ

已上ノ三ノ門ハ北方ノ門ナリ

宣陽門

三間是ヲ宮ノ東面ノ内門トイフ建春門ノ内也左兵衛ノ陣是ナリ

嘉陽門

左ノ廂門トイフ宣陽門ノ北ニアリ

延政門

右ノ廂門トイフ宣陽門ノ南ニアリ

已上三ノ門ハ東方ノ門ナリ

陰明門

三間是ヲ宮ノ西面ノ内門トイフ宜秋門ノ内ナリ右兵衛陣是ナリ

武徳門

左ノ廂門トイフ陰明門ノ南ニアリ

遊義門

右ノ廂門トイフ陰明門ノ北ニアリ

已上三ノ門ハ西方ノ門ナリ

右ノ十二門ハ内裏ノ四方ノ内門ナリ是モ閤門トイヒテ兵衛ノ衛ル門ナリ右ニシルス所ハ昔此十二門ノ内ノ殿舎以下ナリ此十二門ノ外ヲ中ノ重ト云中ノ重ノ殿舎等ハ左ニシルシ侍ル也

中重殿坊等

神嘉殿

中院ノ正殿ト云也天子社稷ノ神ヲ祭リ玉フ処ナリ中和院ハ内裏西ニアリ

武徳殿

是ヲ弓場殿ト云射礼競馬ナト此所ニテ御覧アル也

柏梁殿

是ヲ朱雀院ノ正殿ト云ナリ常ニアヤ殿ト称ス

政初殿

是ヲ陽成院ノ別殿トイフナリ

桂芳坊

朔平門ノ内ノ東ニアリ

華芳門

朔平門ノ内桂芳坊ノ東ニアリ

蘭林坊

朔平門ノ内ノ西ニアリ

楽所

桂芳坊ニアリ毎月習物ヲシルシテ奏聞ス或ハ試アリ

内膳司

宜秋門ノ内北方ニアリ

贄殿

内膳ノ内ニアリ太宰并諸国ヨリ献スル処ノ贄此処ニヲサムル也

采女町

内膳司ノ東ニアリ

絲所

采女町ノ北ニアリ縫殿ノ別処ナリ薬玉ナト此処ヨリ献ス

画所

式乾門ノ内東ノ腋ニ有一説建春門ノ内ニアリトモ云

国史所

宣旨ニヨリテ臨時ニ処ヲヲサムルナリ

女竪所

桂芳坊ニアリ

中重諸門

中和門

中院ノ南門ナリ

建礼門

五間戸三間是ヲ南面ノ僻仗ノ中門トイフ白馬ノ陣是ナリ射礼相撲ナト此ノ門ニテ行フナリ又上古ハ田ノ奉幣ナトモコノ門ニテ行ハレシナリ

(頭書)後成恩寺殿記曰田ノ奉幣トイフハ御即位あ

るへき由並伊勢大神宮へ申さん為御幣及ひ料手はりて奉幣の使
をたてらるゝ之本義ハ大内のとき建礼門へ行幸ありて行はる
る也それ乃後三条院治暦四年即位の時建礼門焼亡によりて神祇
官にて是をたてらるゝ也それより以来例となれり

春花門

左ノ廂僻仗門ト云建礼門ノ東ニアリ左馬陣是ナリ

倫明門

右ノ廂僻仗門ト云建礼門ノ西ノ方ニアリ右馬陣是也

已上三ノ門ハ中陽ノ南ニアリノ門ナリ

朔平門

三門是ヲ宮ノ北面ノ僻仗ノ中門ト云縫殿陣是ナリ

式乾門

西ノ廂ノ僻仗門トイフ朔平門ノ西ニアリ或記ニ此門僻
仗ナレト云ヽ

建春門

三間是ヲ宮ノ東ノ僻仗ノ中門トイフ又外記門トイフ左
衛門ノ陣是ナリ

宜秋門

三間是ヲ西面ノ中門トイフ右衛門陣是ナリ

右七ノ門ハ中重ノ四方ノ門ナリ南ニ三門北ニ一門東西
オノ〳〵一門ナリ皆兵衛ノ守ル門ナリ此七門ノ内ヲ
中ノ重ト号ス右ニ注ス所ハ皆中重ノ殿坊以下ナリ

此七門ノ外宮門ノ内ヲ外衛ト称ス外衛ノ殿門等ハ
又九ニシルシ侍ルナリ

神祇官

柳芳門ノ南ノ腋ニアリ大宮ノ西冷泉ノ北ナリ神祇官ニハ八神殿アリ天神地祇ヲ常典ニヨリテマツル所ナリ祈年月次ナトノ祭モ百官此所ニアツマリテ行フ事也此外社奉幣使ナトモ皆此官ヨリ発遣スルナリ伯副祐史以下是アリ凡天下ノ神社ノ事マテモ此処ニテ沙汰スルナリ百余年以前マテハカタハカリモノコリテ奉幣使ナトノ事行ヒ侍リシカ其後アトナクナリ侍ルナリ但シハ神殿ハ吉田ニウツシ奉リテ侍ルナリ令ノ釈ニ云神祇ハコレ人主ノオモンスル所臣下ノ尊フ所福祥ヲイノリ永貞ヲ求ル神祇ノ徳ニ飯セサル所ナシ云々コレニヨリテ淡海公令ヲ選セラレシニモ神祇官ヲ以テ諸官ノ上ニオカレハヘルナリ

太政官

柳芳門ノ大路ノ北美福門ノ西大炊御門ノ北壬生ノ西也太政官トハ朝家ノ政ヲ成敗スル所ナリ八省ヲヨヒ百官大小ノ事皆此所ニテ決スルモノナリ大臣納言参議弁少納言外記史皆太政官ノ被官トシテ政務ヲ沙汰スルモノナリ
令ノ釈ニ云太政官ハコレ社稷ノ鎮守国家ノ管轄ナリ主

命ヲ奉テ号令ヲ施シ奸偽ヲシリツケテ賢良ヲスヽメ
百官ノ法則タル所万民ノ瞻仰タル所ナリ故ニ二儀（天神地祇歟）ノ後
ニ次ハ此八省ノ前ニ居処也ト云々

八省院ノ殿門諸堂

大極殿

九間四面朝堂院ノ正殿八省院トイフ是ナリ又中臺ノ
最大殿トイフ鴛鴦ノ尾ヲフキ金璫玉礎ナリ八省院トハ天
子臨朝即位又大嘗會朝賀節會以下ノ公事奉幣御斎
會季御讀経ナトモ此所ニテ行ハルヽナリ

小安殿

七間三面大極殿ノ北ニアリ

昌福堂

七間大極殿ノ東ノ方北ヨリ第一ノ堂ナリ龍尾道ノ南ニ當

含章堂

九間昌福堂ノ南ニアリ北ヨリ第二ノ堂ナリ

承光堂

九間含章堂ノ南ニアリ北ヨリ第三ナリ

明礼堂

十五間承光堂ノ南北ヨリ第四

延休堂

七間大極殿ノ西ノ方北ヨリ第一ノ堂ナリ龍尾道ノ南ニ
アタル
含嘉堂
九間延休堂ノ南ニアリ北ヨリ第二ノ堂ナリ
顕章堂
九間含嘉堂南ニアリ北第三
延禄堂
十五間顕章堂ノ南北第四
永寧堂
七間是ヲ次ノ東ノ堂トイフ延禄堂ノ東ニアリ卯酉ノ
堂也
暉章堂
七間是ヲ次ノ東ノ堂ト云修式堂ノ東ニアリ卯酉ノ堂ナリ
康楽堂
七間是ヲ南面ノ堂トイフ暉章堂ノ南ニアリ卯酉ノ堂ナリ
朝集堂
九間應天門ノ内會昌門ノ外東西ニ二字アリ各九間ノ堂
是ヲ東西ノ堂トイフナリ
已上八省院ノ十三堂ト云弘仁勘文ニノスル所ナリ
蒼龍樓

八間是ヲ龍尾道ノ東ノ樓トイフ樓ノ上ニ小閣アリ

白虎樓　龍尾道ノ西ノ樓

栖鳳樓

方四間是ヲ應天門ノ東ノ樓トイフナリ

翔鸞樓

方四間是ヲ應天門ノ西ノ樓トイフナリ

已上八省院ノ四樓ナリ

應天門

五間戸三間二閣是ヲ八省ノ朝堂院ノ南向ノ外ノ門トイフナリ洛都宮城ノ門ヲ應天門ト云コトハ政道天ニ應スル心ナリモロコシニモ天子ノ應門トテ群臣ト事ヲ決スルノ朝應門ノ内ニアリ故ニ應門ヲ以朝門トスルナリ

長楽門

左ノ廂門トイフ應天門ノ東ノ朝集堂ノ南ニアリ

永嘉門

右ノ廂門ト云應天門ノ西ノ朝集堂ノ南ニアリ

已上三ノ門ハ八省院ノ南方ノ門ナリ

昭慶門

五間戸三間是ヲ北面ノ外ノ門トイフ

嘉喜門

東ノ廂門トイフ昭慶門ノ東ニアリ

永福門

西ノ廂門トイフ昭應門ノ西ニアリ

已上ノ三ノ門ハ北ノカタノ門ナリ

宣政門

五間戸三間是ヲ東面ノ外ノ門トイフ

通陽門

左ノ廂門トイフ宣政門ノ北ニアリ

盛化門

右ノ廂門トイフ宣政門ノ南ニアリ

已上ノ三ノ門ハ東ノ方ノ門ナリ

章善門

五間戸三門是ヲ西面ノ外ノ門トイフ

敬法門

左ノ廂門トイフ章善門ノ南ニアリ

顕親門

右ノ廂門トイフ章善門ノ北ニアリ

已上三ノ門ハ西ノ方ノ門ナリ

含輝門

是ヲ章德門ノ外ノ東門トイフ

章義門
是ヲ興礼門ノ外ノ西門トイフ
已上二ノ門ハ東西ノ外ノ門也右ノ東西各三ノ門ノ外也
會昌門
五間戸三間二階是ヲ南面ノ内ノ門トイフナリ
章徳門
左ノ廂門トイフ會昌門ノ東ニアリ
興礼門
右ノ廂門トイフ會昌門ノ西ニアリ
已上三ノ門ハ南面ノ内ノ門也應天門ノ北ニアタルナリ

宣光門
是ヲ北面ノ東ノ霞通廊ノ第一ノ門トイフ
東福門
是ヲ次ノ西第二ノ内ノ門トイフ
壽成門
是ヲ北面ノ西霞通廊ノ第一ノ内ノ門トイフ
西華門
是ヲ北面ノ西第二ノ門トイフ
昭訓門
是ヲ宣光門ノ南ノ方ノ東向ノ門トイフ

光範門

是ヲ壽成門ノ南ノ方ノ西向ノ門トイフ

永陽門

是ヲ昭訓門ノ東面ノ東向ノ門トイフ

廣義門

是ヲ光範門ノ南北ノ通門トイフ

右二十五門八省院ノ諸門ナリ弘仁九年ノ勘文ニノスル処ナリ

豐樂院殿門諸堂

豐樂殿　拾芥抄謂之馬場殿

中臺ノ二重ノ殿閣トイフモトノ名乾臨閣トイフシカルニ神泉苑ノ正殿ト同名ナルニヨリテアラタメラルヽナリ豐樂院トハ天子宴會ノ処ニテ節會射礼競馬相撲ナト行ハレ侍ル即位モ例アリ

顯陽堂

十九間是ヲ閤門ノ前ノ東ノ堂トイフ豐樂殿ノ東ノ方北ヨリ第一ノ堂ナリ

觀德堂

十九間是ヲ次ノ東ノ堂トイフ顯陽堂ノ南ニアリ

永觀堂

十九間是ヲ前ノ西ノ堂トイフ豊楽殿ノ西ノ方キタヨリ
第一ノ堂ナリ或本ニ承観堂トアリ

明儀堂

十九間是ヲ次ノ西ノ堂トイフ永観堂ノ南ニアリ

清暑堂

是ヲ不老門ノ内ノ南ノ堂トイフ卯酉ノ堂也大嘗會ノ五
節此処ニテ行フナリ

東華堂

清暑堂ノ東ニアリ

西華堂

清暑堂ノ西ニアリ

延英堂

九間是ヲ儀鸞門ノ外ノ東ノ堂トイフナリ

招俊堂

九間是ヲ儀鸞門ノ外ノ西ノ堂トイフナリ
已上豊楽院ノ九堂トイフ是ナリ

栖霞楼

五間二階豊楽殿ノ東北ニアリ左ノ方ナリ

霽景楼

五間二階豊楽殿ノ西北ニアリ右ノ方ナリ

已上豊楽院ノ二楼ナリ

豊楽門

五間戸三間是ヲ南面ノ外ノ大門トイフナリ

禮成門

左ノ廂門トイフ豊楽門ノ東ニアリ

崇賢門

右ノ廂門トイフ豊楽門ノ西ニアリ

已上三ノ門ハ南ノ方ノ門ナリ

不老門

五間戸三間是ヲ北面ノ外ノ大門トイフナリ

右北ノ方ハ一門ナリ

延明門

三間是ヲ東面ノ外ノ大門トイフナリ

陽禄門

北ノ廂門トイフ延明門ノ北ニアリ

含利門

南ノ廂門ト云延明門ノ南ニアリ

已上三ノ門ハ東ノ方ノ門ナリ

万秋門

拾芥抄云本ハ延秋門欤正面

三間是ヲ西面ノ外ノ大門トイフナリ

吉徳門
北ノ廂門トイフ万秋門ノ北ニアリ
福礼門
南ノ廂門ト云万秋門ノ南ニアリ
已上三ノ門ハ西ノ方ノ門ナリ
儀鸞門
五間戸 三間是ソ南面ノ内ノ大門トイフナリ
高陽門 拾芥曰云東廊
左ノ廂門トイフ儀鸞門ノ北ニアリ
嘉樂門 拾芥曰謂正廊

右ノ廂門トイフ儀鸞門ノ西ニアリ
已上三ノ門ハ南ノ方ノ内ノ門ナリ
開明門
是ヲ高陽門ノ南東ノ通門トイフナリ
陽徳門
是ヲ嘉樂門ノ南西ノ通門トイフナリ
已上開明陽徳ノ両門ハ郭門ナリ八省院ノ含輝章義ノ
両門ノコトシ
青綺門
是ヲ閤ノ次ノ東北ノ通門ト云東ノ廊ノ南面ノ中央也

白綺門

是ノ窗ノ次ノ北ノ通門ト之西ノ廊ノ南面ノ中央ナリ

違春門

東ノ廊ノ西面ノ通路ナリ

美秋門

西ノ廊ノ東面ノ通路ナリ

右豊楽院ノ十九門ナリ

所々諸院諸陣町々

内舎人所

中務省ノ北ノ門ノ東ノ腋ニアリ

内竪所

一本御書所ノ東ニアリ大臣ヲ以テ別當トスルナリ　厨
ハ大舎人寮ノ南ニアリ

衍字歟
一本御書所　拾芥抄曰式乾門ノ内右侍従所ノ南

侍従所ノ南ニアリ公卿ヲ以テ別當トス世間ノ書一本公
卿ニ献スルヲ納ラルヽ所也　冊巻アリ

大歌所

圖書寮ノ東ニアリ　上西門ノ内ニアリ

侍従所　拾芥圖ニ侍従厨トアリ

外記ノ南ニアリ厨ハ美福門ノ内ノ東ノ腋ニ有

酒殿

外記ノ廳ノ東ニアリ弁ノ別當アリ播磨ノ庸米ヲ納テ
酒ヲ造ル藏人所ノ召ニシタカヒテ是ヲ進ス尋常一度ニ九
升ヲカキリトス甘糟モ亦召ニ随テ是ヲ献スルナリ
已上内中重ナトニアル処ニハ其下ニシルシ畢又諸衛諸
職ハ省諸司諸寮等ハ中重ノ外宮門ノ内ニ有ヲ左ニ注ス

朱雀院

累代ノ後院ナリ或ハ四條ノ後院ト号ス四條ノ北西坊城
ノ東四町

神泉苑

拾芥曰金岡畳石云々

天子遊覧ノ所ナリ又祈雨ナト行レシナリ是ヲ乾臨閣ト云（正殿ナリ）
二條ノ南大宮ノ西八町善女龍王常ニ此ノ所ニテミユトイヘ
リ高野大師祈雨ノ法ヲ奉仕セラレシ時モ（長保年中道綱補之拾芥）龍王現レテ雨
ヲ降シ侍リシナリ上代ハ公卿ノ別當有中古以来近衛ノ
次将ヲ以テ別當トスルナリ永享四年普廣院将軍再興
セラレ侍ル由ミエタリ
（仁明）嘉祥二年五月神泉苑ニ行幸公卿終日宴楽大学ノ博
士文章博士等詩ヲ賦ス

真言院

八省院ノ北ニアリ（嵯峨）弘仁元年弘法大師大唐ノ内道場ニ准

シ申ウケテ建ルナリ則承和二年正月ヨリ始テ後七日ノ
御修法ヲ行レ侍ル是国ノ豊饒ノ法ナリ依テ昔ヨリ豊饒
安民ノ年ハ此法ウケタマハリシ東寺ノ長者ニ勧賞行レ
侍ルヨシミエタリ此外観音供孔雀経ノ御修法ナトモ行ヒ
侍ルコトナリ後花園永享年中普廣院将軍再興セラレシ後長禄同上
ノ頃二三ノモ年ニ修理ヲ加テ此院ニテ行ヒ侍リシカ𪜈其後大
破ニ及ヒテ同上寛正年中ヨリ紫宸殿ニテ行ヒ侍ルコトニナリ侍
ルナリ

勧学院

左大臣冬嗣建立ス藤氏ノ輩ノ学問スル所也長者宣ニ
ヨリテ氏ノ弁ヲ以別當トス又立位有官ノ別當学頭年
挙ナト有三條ノ北壬生ノ西ニ有

奨学院

勧学院ノ西ニアリ源氏ノ輩ノ学問スル処ナリ又氏ノ別當
学頭年挙ナトアリ在原ノ行平是ヲ申置ト云々

学館院

橘氏ノ輩ノ学問スル処也氏ノ公卿別當ニ補ス然ニ近代
橘氏ノ公卿ナキ故別當ノ沙汰ナシ但氏ノ爵ハ是定ノ人
是ヲ挙ス中古以来九條ノ流是ヲ傳ヘシルナリ

弘文院

勧学院ノ北ニアリ和気氏ノ諸生ノ別処ナリ和気ノ清麿私宅ヲ以弘文院ト号シ内外ノ経書数千巻ヲ納置ト云ヽ

穀倉院

畿内諸国ノ銅銭無主ノ職田没官ノ田ナトヲ納テ年中ノ饗ニモチユ別当以下アリ二條ノ南朱雀院ノ西ニ有

淳和院

（淳和）天長ノ上皇ノ離宮ナリ今西院或橘太ノ后宮トモ云モト淳和院ノ仙居ナリ別当ハ奨学院ノ別当是ヲ兼帯スルナリ

施薬院

藤氏光明后宮諸国ノ薬種ヲ申納テ病人ヲ養治スル所也使アリ弁ナラヒニ外記ヲ以テ別当ニ補ス東五條ニアリ

悲田院

施薬院ノ別所也コレモ光明后宮ノ建置ルヽ者ナリ同シク孤子ノ病者ヲ養フ処ナリ左右ノ京職九ヶ條ニ仰ヲ部ノ七口ナラヒニ京中ノ路邊孤子病者ヲ見遇ニシタカヒテ施薬院悲田院ニオクリツカハス事之鴨川ノ西ノ畔ニアリ

延明院

（清和）貞観年中ニ右大臣藤原良相是ヲ建ニス藤氏ノ生病困ノ者ナラヒニ家業ナキ輩ヲ養フ処也勧学院ノ所構ナリ

崇親院

是モ同大臣建オク処ナリ藤原ノ窮女居宅ナキモノヲ養フ処也施薬院ノ処構也五條京極ニアリ

廩院

諸国ノ庸粗米ヲ納置テ公用ニ宛ル処之民部省

醬院

大膳ノ別院ナリ大膳職ノ西ニアリ

供御院

織内ノ御稲ヲ納テ供御ナラヒニ中宮ノ御飯ニ宛ルナリ次侍ヲ以テ預トス大炊寮ノ内ニアリ

乳牛院

豊楽院ノ別処別當乳師預ナト有右近馬場ノ西ニアリ

紙屋院

圖書ノ別処也諸ノ紙ヲコレラヘ置所也北野宮ノ東ニアリ

漆屋

内匠ノ別処ナリ上西門ノ北ノ腋ニアリ

鷹屋院

紙屋ノ北ニアリ

已上諸院如此中和院ハ中重ノ内ニ有八省院豊楽院ハ外衛ノ内ニアリヨテノ更ニ諸院ノ内ニノセサル所也

鴻臚館

七條朱雀ニアリ昔百済国ヨリ来朝セシ僧尼ナト此舘ニ有
也鴻臚ハ腹ノ前鴻ノ鳴トキ聲ヲ出ス処也故ニ鴻臚ハ声ヲ傳ル
トニ心也異国ノ輩来朝ノ時通事シテ両国ノ志ヲ傳ルナリ
延暦都ウツシノ時東西ノ大宮ニ此舘ヲ置弘仁年中ニ東ノ
舘ヲ東寺トメ弘法大師ニ玉ル是モロコシノ不空三蔵ニ鴻臚ヲ
玉リシ例トテ西ノ舘ハ修因僧都ニ玉リシトナリ

園池

内膳別処一條大宮ニアリ

薬園

典薬寮別所

茶園

主殿寮ノ東ニアリ

宴松原

宜秋門ノ北掃部寮ノ西近衛ノ南朱雀ノ西天平年中松
原ノ宮ニ行幸アリテ曲水ノ宴アリ是ヨリイフ欤

諸陣

左右ノ近衛兵衛衛門馬白馬縫殿枇杷等ノ陣皆右トコロ
〳〵ニシルシ畢又

神祇官之町

春日ノ南堀川ノ西ニアリ

官廚家

中衛門ノ北堀川ノ西

外記町

中御門ノ北大宮ノ東

大舎人町

鷹司ノ北轂頁ノ東

内蔵ノ一町

近衛南堀川ノ西

縫殿ノ一町

正親町ノ北西洞院ノ西

織部ノ一町

鷹司ノ北猪隈ノ西

木工ノ町

二條ノ南大宮ノ東

正親ノ町

正親ノ北西洞院ノ東

内膳ノ町

土御門ノ北烏丸ノ西

大学寮ノ一町

二條ノ南三條坊門ノ北

采女町
土御門ノ北東洞院ノ西
帯刀ノ町
一條ノ南堀川ノ東
左京ノ町
姉小路ノ北坊城ノ西
東宮ノ町
中御門ノ南大宮ノ東
修理職寮ノ一町
近衛ノ南大宮ノ東

修理職寮ノ二町
近衛ノ南西洞院ノ東
左近衛ノ四町
土御門ノ南西洞院ノ西
左衛門府
鷹司ノ南大宮ノ東
右衛門府ノ四町
土御門ノ南西洞院ノ東
左兵衛ノ町
近衛ノ南堀川ノ東

近衛ノ北堀川ノ西
使廳
近衛ノ南西洞院ノ西
左獄
内竪町
鷹司ノ北堀川ノ西
内教坊ノ町
土御門ノ北堀川ノ西
女官ノ町
土御門ノ北堀川ノ東

真言院ノ町
春日ノ南堀川ノ西
後院ノ四町
五條坊門ノ南大宮ノ東
同四町
三條ノ南大宮ノ西
東寺四町
唐橋ノ南大宮ノ西
東市屋
七條坊門ノ南猪隈ノ東

市領十一町
内町三町ハ七條ノ坊門ノ南大宮ノ東外町八町ハ左牡ノ
南堀川ノ西
己上宮城ノ内ノ町ゝ如此

宮城門

陽明門
五間戸三間東面北ヨリ第一ノ門也近衛ノ御門ト号ス

待賢門
五間戸三間陽明門ノ南ニアリ中ノ御門ト号ス

郁芳門
五間戸三間待賢門ノ南ニアリ大炊御門ト号ス
己上三ノ門ハ東面ノ門也東ハ東ノ大宮ノ大路弘サ十
二丈也

美福門
五間戸三間二閤南面東ヨリ第一ノ門也壬生ノ御門ト号
ス延暦年中ニ十二門ヲ作ル時此門ハ壬生氏コレヲ作ニ
ヨリテ壬生御門ト号スル也

朱雀門
七間戸五間二閤也重閣ノ御門ト号ス美福門ノ東南面中
央ノ門也長安ノ南面皇城門ノ故ニ朱雀門トモ云大明宮ノ

南面ニ五門有正面ヲ丹鳳門ト云朱雀ト其義一也ト見ヱタリ

皇嘉門

五間戸三間二階也朱雀門ノ西ニアリ歌司ノ御門ト号ス

已上三ノ門ハ南面ノ門也南ハ二條ノ大路弘サ十七丈也

談天門

五間戸三間西面南ヨリ第一ノ門也馬司ノ御門ト号ス

藻壁門

五間戸三間談天門ノ北ニアリ西中ノ御門ト号ス

殷富門

五間戸三間藻壁門ノ北ニアリ西近衛ノ門ト号ス

已上三ノ門ハ西面ノ門也西ハ西ノ大宮ノ大路弘サ十二丈也

安嘉門

五間戸三間北面西第一ノ門也兵庫司ノ御門ト号ス

偉鑒門

五間戸三間安嘉門ノ東ニアリ不開ノ御門ト号ス或説
花山院御出家ノ時此門ヨリ出マシマス其後此門ヲ開カサ
ルカト云々大嘗會ノ斎場知偉鑒門ヲサリテ北八十二
丈點スト見エタリ

達智門

五間戸三間偉鑒門ノ東ニアリ多天井門ト号ス

已上三ノ門ハ北面ノ門ナリ北ハ一條ノ大路弘サ十丈右
十二門ハ宮門ト云ナリ

上東門

陽明門ノ北ニ有是モ東面ノ門也土御門ト号ス又或書ニ
東會扇門トイフナリ

上西門

殷富門ノ北ニ有西面ノ門也土御門ト号ス又西會扇門ト云リ
右二ノ門ハ十二門ノ外ノ宮門ナリ已上十四宮城門ハ皆衛
門ノマモル門也衛門ノマモル所是ヲ宮門トイヒ兵衛ノ
守ル処是ヲ閤門ト云也凡宮城ノ門ハ衛士ヲシテ守ラ
シムル也美福郁芳侍賢陽明上東達智等ノ門ハ左衛
門府是ヲ守ル皇嘉談天藻壁殷富上西安嘉等ノ門
ハ右衛門是ヲ守ル但朱雀門ハ左右相共ニ是ヲ守ル偉
鑒門ハ左右年ヲ隔テタカヒニ是ヲ守ル者也右ニシルス処ノ
殿坊以下ハ皆宮門ノ内也此外諸司諸寮等事シゲキニヨリ
テ畧シノセス又宮門ノ外九條ノ内名所世尊寺桃園染
殿枇杷殿高陽院河原ノ院ナトノ類アマタアリトイヘトモ
宮門ノ外ハ猶以テ略シテシルサハル者也

羅城門

七間戸五間二閣朱雀ノ大路ノ南面ノ大門ナリ南面ハ九

條也朱雀門ノ南ニアタレリ朱雀ノ大路ノ弘サ二十八丈也
羅城門ヲ玄武門ト号スル羅城門ハ周ノ国門唐ノ京
城門ノ義也

殿門ノ額

嵯峨天皇ノ御宇弘仁年中諸門ニ額ヲ掛ル南面ノ美福朱
雀皇嘉ノ三門ハ弘法大師是ヲ書北面安嘉偉鑒達智ノ三門
ハ橘逸勢是ヲ書東面陽明待賢郁芳ノ三門ハ嵯峨天皇
書シメ玉フ西面談天藻壁殷冨ノ三門ハ小野美材是ヲ書ト
云〻又大極殿ハ敏行中将是ヲ書此外紫宸仁壽承香常
寧貞観安福清涼弘徽登華春興宜陽綾綺麗景
宣耀飛香凝華襲芳昭陽淑景等ノ殿舎以下諸門ニ
イタルマテ額ヲ掛ル也木工頭春風右大弁佐理大納言行
成中納言定頼中納言公任大和守兼行入道左府俊房中
納言朝隆宮内少輔伊行ナト弘仁以来相續テ内裏ノ額ヲ
書人〻也近クハ後白河ノ院ノ御宇大内裏ヲ作ラセ玉ヒシ
時殿〻門〻ノ額法性寺ノ関白書シ侍ル者也

里内

紫宸殿　東西七間南北五間

母屋　御帳アリ　御倚子ヲ立ル前　獅子狛犬アリ

御後ハ北ノ廂ヲイフ　東廂　西ノ廂　御膳宿トイフ

北ノ障子ヲ賢聖ノ障子ト云賢聖ヲ畫ク上ニ色紙カタ
アリ能書人賢聖ノ銘ヲカク昔ハ本文トテ彼等ノ能ヲカ
ケリヌ又中央ノ間ニ唐花ヲ畫御帳ノ間ノ戸ニ獅子狛犬
ヲ畫ク上ニ書ヲ負フ亀ヲカク本文ノ心トイヘリ

櫻木ノ事

家初ハ梅ト見エタリ仁明天皇承和年中ニカレタルニヨリテ
櫻ノ木ニアラタメラルヽ者也此櫻貞觀ノ頃カレ侍リテノワツカ
ニ萠タリシヲ坂上滝寺ニ仰テ守ラセ玉ヒシニ枝葉盛ナリト
云ヽ天徳年中内裏焼亡ノ後造内裏ノ時重明ノ親王ノ家
ノ櫻ヲウツシ植ラル件ノ木モト吉野山ノ櫻トイヘリ其後造
内裏或ハ臨時ニモカレ侍ル時ハ左大将ウヱ進ル事也又代ヽニ
闕エシ花ノ宴モ皆此櫻ノ事也

橘木之事

件ノ橘ノ木ハ延暦都ウツシ以前ノ人家ノ橘也一説橘ノ本大
夫宅トイヘリ此木枝條アラタメス天徳ノ焼亡サリシト云ヽ
此モカレヌル時ハ右大将ウヱ進スル事也

清涼殿

五間中ノ間ニ御帳左右ニ獅子狛犬アリ

晝御座

御帳

四面ニ几帳アリ西柱ノ角ニ鏡ニ濱床常ノコトシ

平敷

繧繝畳二帖南上中央ニ茵一枚御釵御座ノ南ノ端ニ有御

硯筥御座ノ南ノ校ニアリ筆臺亀形ノ水入等有

三尺ノ几帳ハ御座ノ北方ニコレヲ立ル也

大床子二脚

脇息一　臺繪御厨子二脚

日記御厨子二脚

昔ハ御日記ヲ入ラレシトナリ

置物御厨子二脚

玄上 中　鈴鹿 下

笛筥蒔海部小水龍

又笛二　狛犬　狛子四

朝餉　二間南ノ間ナリ

平敷二枚

東北ニ屏風ヲ立ル　押ノ錦　絹屏風也

二階一脚

唐ノ一匣筥

硯筥

螺鈿ノ厨子一脚　近代蛮繪ト云、

御冠筥二唾壺　手拭筥　熨大筥

几帳一

大床子一脚

大槓　秋萩コレヲ敝ス

石灰壇　南第一間東西

四季ノ御屏風

障子　唐画本文アリ

燈樓

鬼間

二間格子也昔ハ南壁ニ白澤王鬼ヲキル繪也

北ノ障子際ニ櫛形ニアリ

御厨子　御膳ノ具ヲ置

二間

畳二帖ヲシキテ阿闍梨ノ座トス二間トハ御持僧トテアフ
タレ御殿ニ侍リテ加持シタテマツル也毎日三壇ノ御修法ア
リ東者（寺カ）ノ長者ヲハシメトシテ六七人モ御持僧ニ定ルヿ也東
寺ノ長者多ハ夜居ニ候ス是ヲ二間ノ夜居ト号スル也

夜御殿

四方ニ妻戸アリ南ハ大妻戸ノ一間アリ御帳書御座ニ同シ
東枕ナリ

二階厨子 御枕ノカタニアリ

劔璽ヲ安置シ奉ルナリ覆衣アリ蘋芳御劔ハ東南ニアリ

燈樓 御帳ノ四ノ角ニアリ

江記曰夜御殿ノ火消スヘカラス是劔璽ノ御タメ也ト云〻

棊盤所 三間北ノ間

御倚子

女房ノ簡 袋ニ入

辛櫃 朱漆

膳棚 二階棊盤ノカミニヨリ

火櫃

圍碁 彈棊

厨子 御脚 黒漆菓子ヲ置

馬形ノ障子 御手水ノ間 一間

置物厨子

大床子 圓座ナリ

凡主上ノ御座西ニ向ヘカラサル由江記ニアリ御手水ハ北ニ向ヘキ也ト云〻

上御局 藤壺ノ上ノ御局ト号ス

后女御ナト参上ノ処也

萩戸

常御所也

上御局　弘徽殿ノ上ノ御局ト号ス

是モ女御更衣ナト参上ノ所トミエタリ

弘廂

北ニ荒海ノ障子有二間ト上ノ御局ノ間ニ昆明池ノ障子有南ノ切妻ニ鳴板有ウチツケサル板也是ヲ見参ノ板トイフナリ

殿上

六間春冬ニ壁幕アリ又釣蔀有夕陽ノ時ハ蔀ヲ下ス

上戸　小蔀アリ主上殿上ヲ覧スル所ナリ

年中行事ノ障子

此障子ハ年中ノ公事政ヲ書付侍ルナリ東方ニ正月ヨリ六月ニテ西方ニ七月ヨリ十二月ニテヲ書也仁和元年三月廿五日ニ昭宣公光孝天皇ニ献ス是ヨリ初テ禁中ニ此障子ヲ立ラルヽノ由小野宮ノ記ニミエタリ摂関ノ家ニ立ルニハ私ノ行事ヲモ書加ヘ侍也

御倚子　覆アリ

巻杖　上ノ戸邉ニアリ

和琴　北ノ長押ニアリ

臺盤　三脚　切臺盤ハ大臣ノ料ナリ

火櫃　二四月ヨリ十月ニイタリテ是ヲ撤ス
圍碁　弾碁盤　近代冬是ヲ置ス
簡　日給ノ簡ナリ袋アリ
朱辛櫃
硯　横敷ノ前ニアリ尾硯ナリ
坤ノ角ノ柱ニ蘋芳ノ緺ヲツケテ鈴ヲツクル小舎人ヲ召時
蔵人是ヲ引ナリ二條院ノ御時ヨリノ事也始ハ馬寮ノ指
縄ヲ用ルヨシミエタリ
掉間　小板敷ノ西ニアリ
小庭　無名門ノ内ヲ云ナリ

時簡　小庭ニアリ
膳棚　同
燈楼　同
下侍　三間
四面ニ畳ヲ敷侍臣乱遊ノ所也或又酒宴等此所ニオヒ
テ行フ
渡殿
北ニ高欄ニソヒテ布障子二間アリ又馬形障子有彼
祢馬ト号ス
春興殿

五間二面日華門ノ北ニ有内侍所此殿ニヽレヽス也
宜陽殿　三間二面月華門ノ北ニアリ
床子座　宜陽殿ノ西ニアリ
陣座　三間二面
腋陣　床子座ノ南ニアリ
孔雀間　二間陣ノ座ノ北ニアリ
軒廊　三間紫宸殿ノ西ノ廊ナリ
小御所　五間四面清涼殿東ニアリ
進物所　四間二面小御所ノ乾ニアリ
黒戸　清涼殿ノ北東ニアリ

記禄所
四間二面南殿ノ乾ニ在記禄所トハ諸人ノ新訴ヲ判断スル
所也後三條院ノ時コトニ與行アリテ寄人ナト選ヒ置レレト也
御輿宿　月華門ノ南西ニアリ
装束使部屋　御輿宿ノ南ニアリ
宜仁門代　陣座宜陽殿西宇ノ間ニアリ
無名門代　殿上前ニ有當時門ヲ昭陽殿代ト号ス
神仙門代　殿上ノ小庭ノ西ニアリ
日華門　春興殿ノ南ニアリ
月華門　宜陽殿ノ南ニアリ

左衛門ノ陣　當時西ノ四足ノ門ヲ左衛門ノ陣ニ用

右衛門ノ陣　東ノ四足ヲ右衛門ノ陣ニ用ユ

美明門代　南ノ門ナリ

右ノ皇内殿門ノ目録ハ土御門ノ内裏繪圖ヲ以テ模書スルモノ也凡近代造内裏ノ事後深草院ノ御宇建長三年将軍頼嗣執権陸奥守重明極楽寺ト号ス相模守時頼最明寺ト号スナト沙汰トシテ造ラレシハ閑院ノ内裏也花園院ノ御宇文保元年将軍守邦親王執権相模守高時造営セラレシハ冨小路ノ内裏ナリ後光厳院ノ御宇貞治五年宝筐院将軍後小松院ノ御宇應永九年鹿苑院准后等作リ進セラレシハ土御門ノ内裏也右文保建長以前ハ當時ノ内裏聊カハレル事トモアルヘシ貞治應永以来ハ凡當時ノ内裏ニカハル事ナキ歟仍テ貞治應永ノ繪圖ヲ以テシルシ侍ル者也

關戸藏書